

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：メモリー保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：佐藤 展明	定員（利用人数）： 定員 60名（利用者 67名）
所在地：〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町647-4	
TEL：045-823-0006	
ホームページ：http://www.memorynokai.org	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2016年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：特定非営利活動法人 メモリーの会	
職員数	常勤職員： 17名 非常勤職員： 22名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士 25名 看護師 1名
	栄養士 2名
施設・設備の概要	（居室数）保育室：6 休憩室：1 事務室：1 給食室：1 他：3
	（設備等）シャワー室：1 沐浴：1 園庭：1

③理念・基本方針

保育理念

子どもの自発的な思いや行動を受けとめ、信頼関係を築きながら
子育てを支えます。

保育目標

心身ともに豊かに育ち、安定した生活を送る。 聞く力、伝える力を養う。
喜びや悲しみを共感して思いやりのある子どもに。 自立心を養い、
基本的生活習慣を身につける。

④施設・事業所の特徴的な取組

メモリー保育園は2016年4月に認可移行とともに新設した定員60名の認可保育所です。
舞岡の自然のなかで明るく元気にのびのびと！
子どもはもちろん、お父さんも、お母さんも、先生も明るく元気にのびのびと過ごせる環境創りをしていきます。
家庭的な保育で培った、一人一人に寄り添う保育の中で、様々な体験とともに豊かな心と人間性を育てています。
自然の食材と共に学ぶ低年齢からの食育。
近隣の畑や園庭で野菜を、みんなで栽培・収穫し、調理体験も踏まえてみんなで食べる食育の実践。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年5月28日（契約日） ～ 令和3年3月15日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（ 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1) のびのびと遊び込める施設環境

園は自然豊かな環境にあり、園庭は広く、中央には二つの築山、雲梯、砂場、シェード付きの広い屋外プールや園舎正面には時計台も設けています。園舎は、1フロアに全てのクラス室があり、天井は高く、天窓や吹き抜けから十分な採光が確保され、各クラスから出られる木製の広いテラスでは、子どもたちが多目的な遊びを展開することができるなど、子どもが主体的に探索し、遊び込めるきっかけが園の至る所に見られます。園舎の床や家具類は木材を使用し、子どもたちは素足で過ごしています。足の裏に刺激を与え、土踏ますをつくり、しっかり立つ・歩く・走る・飛ぶなど、基本的な運動機能を高めることができます。トイレも素足で利用し、清潔で衛生的に使用する意識を養うなど、園は自然環境や生活環境から育む知恵と基本動作を習慣付ける保育に力を入れています。

2) 子どもの自主性を大切にした指導の徹底

園庭の続きにある広い菜園では、皆で野菜を栽培し、土づくり、苗つけ、雑草取り、水やり、収穫、調理、食べる一連の食育が、きめ細かな計画の下で実践されています。この秋の収穫では子どもたちが育てた芋ほりが行われました。各クラスで野菜の成長を手助けし、土の中で成長する姿を想像し、実際に掘り出す作業、収穫までの経過を皆で大きな絵にしています。野菜の栽培、収穫という同じ体験をした子どもたちは、クラス・年齢によって、大きく違った形で表現されていました。子どもたちが、自分で考え表現する自主性を大切にした指導が、各クラスで行われ記録として残しています。

◇改善を求められる点

1) 中・長期ビジョンの策定

開園5年目を迎える園は、開園時のビジョンの策定から改訂を行っていませんが、毎年、事業報告として園の自己評価・会計報告を横浜市に提出し、WEB上で公開をしています。単年度の検討課題に対する具体的な計画、及び、計画の進捗状況のモニタリングなどの体制を構築し、全職員が同じビジョンに向けて一人ひとりが意識することで中長期ビジョン・単年度計画が連動し、日々の活動に具体化され、園の質の向上につながる体制づくりが期待されます。

2) 取得した諸データの分析と活用

職員の自己評価は3年連続シートで実施しています。園長は、自己評価の結果を踏まえて職員と話し合い、理解を促しています。事故報告・ヒヤリハット記録なども確実に記録し、成果を上げていますが、把握した諸データを纏めて分析し必要な改善対策につなげる工夫が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度の第三者評価を受けるにあたり、保育所運営にかかわる様々な評価基準に照らし合わせ、良い部分と改善できる部分を組織全体として振り返りをしました。
評価結果での指摘事項は、今後のより良い保育を实践する上での具体的な示唆となり、改善点を来年度や中期・長期的な事業計画の中に生かし、より一層安心して利用できる環境と職員が長期的に働きやすい環境を整えていきたいと思ひます。
職員全体が一丸となり、より質の高い保育を实现していく為には何をすべきか。
管理者自らが問題点を分析し、職員一人ひとりの気づきを受けとめ、保育の見直しにつなげていくことが今後の課題の第一歩と感じています。
利用者の方々のご意見も評価の中に提示されているので、改善に向けて努力していきたいと思ひます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり